

1 主 題 空白のカルテ ～ハンセン病と闘う～ (自作資料) 4ー(2) 公正・公平、正義

2 本時の目標

- (1) ハンセン病について正しく理解し、ハンセン病患者が受けてきた差別について考える。
- (2) 小笠原博士の功績を知ること、一人一人の命がかけがえのないものであることに気づき、差別や偏見のない世の中を願う気持ちを高める。

3 人権教育上の観点

- ・ シンキングツールを使うことで、自分の考えをまとめ、わかりやすく表現し伝える力を育てたい。(視点②)
- ・ 話し合い活動では、自分の意見とは異なる仲間の意見も認め、互いによりよい人間関係を築かせたい。(視点④)
- ・ 不当な差別を受けてきたハンセン病患者の苦しみや悲しみを知ること、一人一人が個性をもったかけがえのない存在であることに気づき、差別や偏見を排除し、互いを尊敬し合い認め合っよりよく生きていこうとする気持ちを育てたい。(視点⑧)

4 準備・資料

- ・ 教師 小笠原登博士の写真 掲示用貼付カード ハンセン病に関する新聞記事
シンキングツールシート カルテ型ワークシート 読み物資料 付箋

5 指導過程

段階時間	学 習 活 動	・留意点 [支]支援 [人]人権教育的配慮 評 価
つかむ 5分	1 ハンセン病について知っていることを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期に学習したハンセン病について、覚えていることを確認させる。 ・ 2、3名の児童に発表させる。 ・ 小笠原博士について触れさせる。 <p>[支] 小笠原博士の写真を見せて、ハンセン病の治療に尽くした郷土の偉人であることを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;">小笠原博士の行動について考え、命の尊さを感じよう</div>
考える 10分	2 ハンセン病患者を苦しめた差別や偏見について知る。 (1) 資料を読む。 (2) 博士がとった行動について考える。 ・ 患者に直接さわった ・ 「空白のカルテ」の作成 ・ 療養所の医官を引き受けた ・ 夜遅くまで、研究をした	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当時はハンセン病が正しく理解されていなかったことを押さえる。 <p>[支] 「らい予防法」の制定や「無らい県運動」「強制隔離」を国が勧めていたこと、療養所とは名ばかりの強制収容所のような生活を強いられた患者の様子を知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料をもとに、「博士がしたこと」について発表させる。 <p>[支] 患者寄りの博士ではあったが、ハンセン病については「移る病気である」という認識があったことに触れておく。</p>
深める 25分	3 小笠原博士のハンセン病に対する考えや患者への気持ちを考える。 (1) 付箋に考えを書く。 (2) 「ベン図」を使って、2者の考えを比較しながら、分類・整理する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「国や世間の考えや気持ち」「小笠原博士の考えや気持ち」というキーワードについて、付箋を使って個々の考えを書かせる。 ・ 2つのキーワードを2色の付箋で色分けさせ、比較しやすくさせる。 <p>[支] らい病に対する国や世間の考え方と小笠原博士の考え方の違いの比較から考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループで取り組ませる。 <p>[人] 互いの意見をベン図に分類・整理させることで、小笠原博士のとった行動が誰にでもまねができることではない、すごいことであることを確認させる。②</p>

<p>深める</p> <p>25分</p>	<p>(3) 小笠原博士の考えや気持ちについて話し合う。</p> <p>4 ハンセン病に対する正しい知識や小笠原博士の正義感を知り、今後の自分たちができることを考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめたベン図を手がかりにして考えさせる。 [支] 意見が深まらない場合は、ハンセン病患者捜しが行われたことや、通報の義務があったこと、警察も動いていたことを伝え、そんな状況下での博士の正義感について考えさせる。 [人] 互いに意見を聞き合い、共通点や相違点を確認しながら話し合う。④ ・ 「カルテ形式」のワークシートを使う。 ・ 「自分だったら…」という立場でカルテに取り組ませる。 [人] 誰とでも仲良くし、互いを認め合うことが、一人一人の命を大切にすることにつながることを意識させて、ワークシートに取り組ませる。⑧ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>小笠原博士の行動や考えから、人は誰でも平等で、命の重みは同じであることを考えることができたか。 (発言、観察、ベン図、プリント)</p> </div>
<p>振り返る</p> <p>5分</p>	<p>5 本時の授業を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに書いたことを発表させる。 ・ 今日の学習を今後の総合学習に生かすことを伝える。

6 事後の指導

- ・ 友達の良いところを見つけ、誰とでも仲よく生活できるよう支援していく。
- ・ 互いの個性を尊重し合い、相手を認め、協力しあえる学級づくりを支援していく。
- ・ ワークシートを掲示し、総合学習に生かしていく。

7 反省

8 高評

<本時で使用するシンキングツール>

- ・ 3の話し合いでシンキングツールを利用する。
- ・ ベン図(考えを比較する)

